

# 令和6年度事業計画書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

当財団は、令和2年度から令和6年度まで、彩の国さいたま芸術劇場及び埼玉会館の管理運営に係る指定管理者の指定を受け、優れた舞台芸術作品の提供や、県民の文化芸術活動の支援に関する取組及び、地域の核としての賑わいを創出する事業を実施し、財団の目指すべき方向性として定めたミッション・ビジョンの実現に向け取り組んでいる。

## 【ミッション】

「Art for Life - すべての人生に芸術を - 」

## 【ビジョン】

「アートでつなぐ - 人・地域・世界 - 」

- (1) 世界に通用する舞台芸術を創造・提供する
- (2) 県民に対し満足度の高い芸術文化活動の実践の場を提供する
- (3) 社会や地域の課題に対し芸術文化活動を通じてその解決に貢献する

令和6年度は、彩の国さいたま芸術劇場の開館30周年という大きな節目を迎えることから、新たな未来を刻んでいくという意識をもって、文化芸術の発展・創造に努めていく。さらに、様々な30周年記念事業を実施することで、劇場に親しまれてきたお客様に再び足を運んでいただくとともに、より多くのお客様にお越しいただくよう情報発信し、劇場の認知度の更なる向上を目指す。

また、近藤良平芸術監督のもと、様々な表現分野に関心のある人々が集結し、プロフェッショナル・アマチュアを問わず、若者から高齢者、障がい者や外国人などを含む多種多様な人々からなる新たな芸術表現活動グループを設立する。その中で多様なジャンルや人々がクロスすることで生まれる新しい表現を模索、その成果を発表する。

令和5年2月に全37戯曲の完全上演を果たした彩の国シェイクスピア・シリーズについては、同シリーズ芸術監督の吉田鋼太郎氏のもと新シリーズ「彩の国シェイクスピア・シリーズ2nd」をスタートし、1作目として「ハムレット」を上演する。

こうした事業も含め、事業展開戦略に基づく幅広い事業をこれまで培ってきた実績と経験を最大限に活用しながら実施するとともに、経営の健全化及び経営基盤の強化に取り組むことで、県内における文化芸術の一層の振興と、真に豊かさゆとりを実感できる県民生活の実現を図っていく。

## 《事業展開戦略》

- (1) 世界に通じる演劇・舞踊・音楽とその融合・発展
- (2) 質の高い貸館支援と利用者層の拡大
- (3) 社会課題の解決に貢献する芸術活動の推進
- (4) 芸術実践・鑑賞層の拡大

## 1 舞台芸術作品の提供等に関する事業

### (1) 自主企画公演等及び国内外との交流（55事業）

当財団の事業展開戦略を踏まえ、芸術劇場と埼玉会館の計6つのホールの特徴を活かしながら、次の自主企画公演等を実施する。

#### ア 世界に通じる演劇・舞踊・音楽とその融合・発展（9事業）

- ・国内外からの埼玉県文化芸術への評価を高めるため、芸術性の高い舞台芸術作品の上演や演奏会を行う。一部の公演では関連企画として、作品への理解を深めるためのワークショップや解説レクチャーを実施する。

事業名	実施予定時期	会場	内容
<b>演劇</b> 彩の国シェイクスピア・シリーズ 2nd 『ハムレット』	5月	芸術劇場 大ホール	「彩の国シェイクスピア・シリーズ」の後継事業として吉田鋼太郎シリーズ芸術監督のもと、シェイクスピア作品を上演する新企画。1作目として吉田鋼太郎の演出により悲劇『ハムレット』を上演する。
<b>音楽</b> バッハ・コレギウム・ジャパン 劇場 30周年記念プログラム	9月	芸術劇場 音楽ホール	国際的に最も高い評価を集める日本の演奏団体に成長を遂げたバッハ・コレギウム・ジャパンによる公演。劇場の30周年を記念し、埼玉オリジナルのプログラムを披露する。教育的プログラムとして、公演に先駆けて関連レクチャーも開催する予定。
<b>舞踊</b> クリスチャン・リゾー 『D'après une histoire vraie (ダプレ ユヌ イストワール ヴレ)』	10月	芸術劇場 大ホール	振付家、ビジュアル・アーティスト、キュレーターとして活躍し、2015年よりICI（モンペリエ国立振付センター）のディレクターを務めるフランスのアーティスト、クリスチャン・リゾーによる『D'après une histoire vraie』を日本初上演。Van Cleef & Arpels の「Dance Reflections Festival」との共催プログラムとして埼玉と京都で上演する。

事業名	実施予定時期	会場	内容
<b>舞踊</b> ラシッド・ウランダン 『Corps extrêmes (コール エクスト レーム)』	10月	芸術劇場 大ホール	移民や難民らの声を取り入れたダンスドキュメンタリーという表現に取り組み、2021年より国立シャイヨー劇場のディレクターを務めるラシッド・ウランダンによる『Corps extrêmes』を日本初上演。Van Cleef & Arpelsの「Dance Reflections Festival」との共催プログラムとして埼玉と京都で上演する。
<b>音楽</b> NHK交響楽団 キンボー・イシイ (指揮)・福間洗太朗 (ピアノ)	11月	埼玉会館 大ホール	日本を代表するオーケストラであるNHK交響楽団による演奏会。指揮者はキンボー・イシイ、ソリストにはピアニスト福間洗太朗を迎える。
<b>舞踊</b> 岡田利規 『わたしは幾つもの ナラティヴのバトル フィールド』	11月	フランス	国内外から注目を集める劇作家・演出家の岡田利規と、ダンサー・振付家として活躍中の湯浅永麻によるコラボレーション企画。令和4年9月に、言葉と身体の関係性を巡る新作として初演した本作を、世界の舞台芸術創造の最尖端を紹介する芸術祭「フェスティバル・ドートンヌ」の招聘を受けフランスで上演する。
<b>音楽</b> アンドラーシュ・シフ ピアノ・リサイタル	12月	芸術劇場 音楽ホール	円熟した演奏で世界中を魅了するトップ・ピアニスト、アンドラーシュ・シフを迎え、リサイタルを開催する。彼の最近のスタイルである、当日までプログラムを発表せず、自身による示唆に富む解説を挟みながら進める形で、極上のピアノ音楽を披露する。

事業名	実施予定時期	会場	内容
音楽 パトリツィア・コパチンスカヤ&カメラータ・ベルン	12月	芸術劇場 音楽ホール	現在音楽界のトップランナーとしてクラシック音楽における新たな切り口を提示し続ける気鋭ヴァイオリニスト パトリツィア・コパチンスカヤとアーティストリック・パートナーを務めるカメラータ・ベルンとの公演を実施する。
舞踊 Noism0 / Noism1 近藤良平・金森穰 ダブルビル	2月	芸術劇場 大ホール	りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する日本初の公共劇場専属舞踊団 Noism Company Niigata に、当劇場芸術監督・近藤良平と Noism 及びりゅーとぴあ舞踊部門芸術監督・金森穰が新作を演出振付するダブルビル。Noism Company Niigata との共同製作。

#### イ 芸術実践・鑑賞層の拡大（38事業）

- ・次代の舞台芸術を担う人材の育成を図るため、若手ダンサーや演奏家、落語家等を起用した公演を実施するほか、演出家、振付家等による創作や発表の場を提供する。また、大学等と連携し、当劇場の職員が講師を務める講座等を実施する。
- ・芸術文化への関心を高め、裾野の拡大を図るため、良質で親しみやすい公演や県内学校と連携したアウトリーチ事業など、多様なニーズに配慮した事業を実施する。

事業名	実施予定時期	会場	内容
その他 彩の国さいたま寄席 四季彩亭	5・7・10 ・1月	埼玉会館 小ホール	名人から若手まで実力と人気を兼ね備えた出演者を、独自の視点でラインナップする落語公演を実施する。公演当日の観客投票によって決定する「彩の国落語大賞」を贈呈し、若手落語家のステップアップの支援と落語文化の継承に努める。

事業名	実施予定時期	会場	内容
<b>音楽</b> エトワール・シリーズ プラス	5・11月	芸術劇場 音楽ホール	若手ピアニストを紹介してきた「ピアノ・エトワール・シリーズ」の対象を他の楽器にも拡大し、より深く人材育成に資する内容を目指して新シリーズを開始する。若手演奏家がオリジナルプログラムでリサイタルと室内楽等、内容を違えた2回の公演を行う。進捗著しい期待のチェリスト佐藤晴真を起用、無伴奏チェロ・リサイタルと室内楽（ピアノ四重奏）コンサートを開催する。
<b>舞踊</b> コンドルズ埼玉公演 2024 新作 『Here Comes The Sun』	6月	芸術劇場 大ホール	平成18年度から継続的に実施している「コンドルズ」による埼玉スペシャル公演の17回目。ダンス、映像、生演奏、人形劇、コントをちりばめ、空間を縦横無尽に使いこなすコンドルズならではの劇場で創作する新作ステージ。
<b>音楽</b> 埼玉会館ランチタイム・コンサート 第61回～第64回	6～3月	埼玉会館 大ホール	平日の昼に開催する、トークを交えたショート・プログラムによる気軽なクラシック・コンサート。会館で公演を行うN響メンバーによるアンサンブルなど、多彩なラインナップを提供する。
<b>演劇</b> 音楽劇『死んだかいぞく』	7・8月	芸術劇場 小ホール	下田昌克の絵本『死んだかいぞく』を原作としてノゾエ征爾の脚本・演出、田中馨の音楽により親子で楽しめる新作音楽劇を創作・上演する。当劇場を皮切りに全国7か所の公共ホールで巡回公演も行う。

事業名	実施予定時期	会場	内容
<b>音楽</b> 大塚直哉レクチャー ・コンサート (第10回、第11回)	7・2月	芸術劇場 音楽ホール	平成29年度より音楽ホールにて開催している「大塚直哉レクチャー・コンサート」を継続開催。第10回「オルガンとチェンバロで聴き比べるゴルトベルク」、第11回「鍵盤の上で踊るバッハ!？」の2公演。ポジティブ・オルガンとチェンバロを使用し、J. S. バッハの音楽を中心に、演奏と解説で構成する。他分野で活躍するゲストを迎え、多角的な視点から、バッハの音楽に迫る内容を予定。
<b>舞踊</b> ダンス・リダイレクション	8月	芸術劇場 大稽古場等	多角的な視点からダンスを見つめ直し、これからのダンスの可能性を問う育成企画「ダンス・リダイレクション」を新たにスタート。初年度の講師にピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団の瀬山亜津咲を迎え、若手ダンサーや振付家、またジャンルを超えて身体表現に関わる表現者らを対象に、技術だけでなく思考力や多様なアプローチを養うワークショップを実施する。
<b>その他</b> 30周年大感謝祭! オープンシアター	10月	芸術劇場	近藤良平芸術監督プロデュースにより、親子や幅広い世代を対象にダンス・音楽などジャンルを超えて気軽に参加、鑑賞して楽しめるプログラムを、劇場空間を活用した開放的なオープンシアターとして実施する。劇場開館30周年スペシャルとして、劇場敷地内のみならず、与野本町駅前や劇場までのアートストリートエリアでのイベントもあわせて実施する。

事業名	実施予定時期	会場	内容
<b>音楽</b> ジャパニーズ・ミニマル・ミュージック ～オール・久石譲・プログラム～	11月	芸術劇場 音楽ホール	日本を代表する作曲家 久石譲の室内楽作品として出版された曲と平成12年に発表されたCDアルバム「ヴィオリストを撃て」を中心に選曲、最大10名程度のアンサンブルを予定。本公演は「あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール」との共同制作として開催する。
<b>演劇</b> 彩の国さいたま芸術劇場開館30周年記念特別公演 シェイクスピア『夏の夜の夢』	11・12月	芸術劇場 大ホール	彩の国さいたま芸術劇場開館30周年記念特別公演として、吉田鋼太郎演出のもとシェイクスピア作品の新作舞台を創作・上演する。一般向けの有料公演のほか、県内高校生を中心に子供向けの無料招待枠を設ける。
<b>演劇</b> 松井周×菅原直樹 『聖地』	1月	芸術劇場 小ホール	当劇場に『聖地』や『導かれるように間違え』を書き下ろした劇作家・演出家の松井周演出による「老い」や「死」をテーマとした新作公演を岡山創造芸術劇場ハレノワ、三重県文化会館と当劇場の3館連携事業として実施する。出演者の公募やワークショップなど地域の特色を活かした作品制作を行う。
<b>音楽</b> 坂東祐大新作 ワーク・イン・プログレス ショーイン グ+トーク	2月	芸術劇場 小ホール	気鋭の現代音楽作曲家・坂東祐大新作発表、上演に向けてのワーク・イン・プログレス。令和6年度末にショーイング+トーク（坂東ほかゲストを予定）を予定。演出、出演者は調整中。

事業名	実施予定時期	会場	内容
<b>舞踊</b> 日本昔ばなしのダンス蓮田公演	2月	蓮田市	親子を対象に、日本の昔ばなしを題材としたダンス作品を制作・上演する人気シリーズの地方公演。令和5年3月制作の『じごくのあばれもの』（振付：川村美紀子）、『ごんぞうむし』（振付：黒須育海）を蓮田市総合文化会館ハストピアにて上演する。
<b>その他</b> 舞台技術講座	3月	芸術劇場 大ホール他	高校生から25歳以下の方を対象とした音響・照明・道具等の舞台技術に関する講座を行う。また、劇場や舞台技術に関する様々なテーマについて専門家を招いて議論する「さいたま舞台技術フォーラム」も開催する。
<b>演劇</b> 岩松了劇作塾	通年	芸術劇場 小ホール 他	劇作家・演出家の岩松了を講師に迎え、キャリア形成過程にある劇作家を対象とした実践的な劇作講座を行う。講座の最後には成果発表として、参加者が書いた戯曲の発表会をリーディング公演の形式で行う。
<b>舞踊</b> MEET THE DANCE～アーティストが学校にやってくる！	通年	県内中学校	中学校の授業でダンスが必修化された中、プロの振付家、ダンサーによるダンス・ワークショップを県内中学生を対象に実施する。
<b>音楽</b> 光の庭プロムナード ・コンサート	通年	芸術劇場 光の庭	芸術劇場所有のポジティブ・オルガンを活用し、土曜日の午後に劇場内の光の庭において入場無料で開催してきたコンサート・シリーズを、継続実施。声楽又は器楽とのアンサンブルを予定。



事業名	実施予定時期	会場	内容
<p><b>音楽</b> みんなのオルガン講座</p>	<p>通年</p>	<p>芸術劇場 練習室他</p>	<p>パイプオルガンのしくみを理解し、実際に触れてみる初心者向けのレクチャー、鍵盤楽器経験者等を対象に、発表会に向けて4回のレッスンを受講する「基本コース」1・2（1年目はソロ、2年目はアンサンブル中心）、及び基本コース修了生対象の勉強会で構成する。</p>
<p><b>音楽</b> MEET THE MUSIC～アーティストが学校にやってくる！</p>	<p>通年</p>	<p>県内小中学校 特別支援学校</p>	<p>県内の小・中学校にプロの演奏家を派遣し、単なる受け身にとどまらない、気づきや発見を伴うプログラムで、生演奏の鑑賞機会を提供する。令和5年度から特別支援学校にも対象を広げている。</p>
<p><b>その他</b> オープンスペースの活用</p>	<p>通年</p>	<p>芸術劇場 光の庭他</p>	<p>劇場のオープンスペースを多様なかたちで活用するために、無料のイベントを通年で開催。光の庭でのライブ・イベント、地元のマルシェ、全館を活用したサウンドスケープのイベント等を開催。気軽に立ち寄れて楽しめるイベントを多数展開する。</p>
<p><b>その他</b> あなたと街で踊らせて！さいさい盆踊り普及事業</p>	<p>通年</p>	<p>県内各地</p>	<p>近藤芸術監督が創作した当劇場発の埼玉の盆踊り「さいさい盆踊り」を県内に普及すべく、県内の学校・自治体・盆踊り保存会・企業等で「さいさい盆踊り」のワークショップ・実演を実施。振付を教えるだけでなく、近藤監督が得意とする「からだコミュニケーション」の要素も取り入れて、ダンスや表現の楽しさも伝える。</p>

事業名	実施予定時期	会場	内容
その他 芸術監督トークシリーズ	通年	芸術劇場 映像ホール	ジャンル・クロスをかかげる近藤芸術監督が注目する多彩なジャンルのアーティストや専門家を招き対談を行う。
その他 大学生インターンシップ	通年	芸術劇場	将来の舞台芸術を担う人材の育成に資するため、県内及び首都圏の大学生を対象としたインターンシップを実施する。
その他 大学への講師派遣	通年	埼玉大学 放送大学	財団職員を講師として派遣し、当財団の事業展開や運営など事例を取り上げた授業を実施する。

ウ 社会課題の解決に貢献する芸術活動の推進（5事業）

- ・芸術文化を通して社会包摂の実現に貢献するため、子どもから大人まで、障がいの有無や国籍にかかわらず、多様な人々が芸術文化に参加できる公演等を実施する。

事業名	実施予定時期	会場	内容
その他 バリアフリー・セミナー	1月	芸術劇場 映像ホール	障がい者の劇場体験や芸術参加を支援するために必要とされる知識を共有し、方法論や改善策を議論するセミナーを開催する。
その他 埼玉回遊	通年	県内各地	開かれた劇場を推進する新しい取組として、県内各地に近藤監督が外向き、地域に固有の特色ある文化や実践する人々と出会い、それらの要素を取り入れて地域の人々とともにパフォーマンスを創作する。また、その様子を映像で収め、広く発信していく。県内5か所程度を訪問予定。

事業名	実施予定時期	会場	内容
<b>その他</b> 新シアターグループ	通年	大稽古場 他	多世代かつ様々な属性の人々による表現活動グループを設立し、舞台活動経験の有無を問わず、若年層から高齢者まで、また障がい者や外国人など多様な人々が表現活動に参加することができる〈ソサエティ〉活動、及びそうした人々が共に創作活動を行う〈クリエイション〉の2つの活動を行う。
<b>舞踊</b> パーキンソン病患者のためのダンス・プログラム	通年	オンライン	パーキンソン病患者のために開発されたダンス・プログラムのワークショップをスターダンサーズ・バレエ団との共働でオンライン配信により定期開催する。

#### エ 共催（3事業）

- ・本県の芸術文化の振興に寄与する芸術性の高い公演等を共催公演として実施する。

事業名	実施予定時期	会場	内容
<b>音楽</b> 加藤訓子プロデュース スティーヴ・ライヒ プロジェクト 「kuniko plays reich 11 / DRUMMING LIVE」	6月	芸術劇場 音楽ホール	国際的に活躍する打楽器奏者、加藤訓子が継続的に取り組むライヒのプログラムを開催。新作となる「kuniko plays reich 11」と若手打楽器奏者による「DRUMMING」の2部構成とし、多彩な内容を展開する。
<b>舞踊</b> Noism Company Niigata 20周年記念公演 『Amomentof』	7月	芸術劇場 大ホール	りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する日本初の公共劇場専属舞踊団 Noism Company Niigata との共催公演。設立20周年を迎える Noism による Noism0+Noism1+Noism2 総出演の公演を予定。

事業名	実施予定時期	会場	内容
音楽 東京交響楽団サマー コンサート	8月	埼玉会館 大ホール	東京交響楽団公演を共催で開催する。午前中に東京交響楽団メンバーの室内楽による「0歳からのコンサート」、午後は千住真理子をソリストに迎え、親しみやすい作品を中心としたオーケストラ公演を開催する。

## (2) 企画展示・広報等

### ア 企画展示事業

彩の国さいたま芸術劇場内の光の庭、ガレリア等を会場として、開館30周年を記念した企画展示などを年5回実施する。

### イ 財団情報誌「埼玉アーツシアター通信」の発行

財団の活動を広く一般に広報するためのツールとして、公演や活動内容に関する情報や出演者インタビューや寄稿記事などで構成するカルチャーマガジンを発行する。

(ア) 発行回数、部数 年4回 各12,000部発行

(イ) 配布先 財団メンバーズ、サポーター会員、マスコミ、プレイガイド、県内公共施設など

### ウ メンバーズ事業

自主企画公演のチケットの優先予約や団体営業などを行うことにより、基盤となる顧客の確保と観客層の拡大を目指し、チケットの販売促進を図る。

会員数 5,002人（令和6年2月末現在）

### エ サポーター会員の運営

財団の活動を支援いただく法人等の賛助組織「サポーター会員」の運営・管理を行うとともに、新規会員の獲得を図る。

サポーター会員数 124社（者）（令和6年2月末現在）

### オ その他広報等

近隣公共施設への公演チラシの配架、ホームページやSNSを用い積極的な情報発信を行い、広く県民に彩の国さいたま芸術劇場及び埼玉会館等の活動を広報する。

## (3) 資料収集

演劇、舞踊、音楽、映画等の分野に係る書籍、CD、DVD等を収集するとともに、当財団自主企画公演等の記録映像を含めた資料の適切なアーカイブ化を進める。

## 2 芸術文化活動の場の提供等に関する事業

芸術文化活動の拠点施設として、彩の国さいたま芸術劇場及び埼玉会館について、各施設の持つ機能を効果的に活用して施設貸与を実施する。

### (1) 彩の国さいたま芸術劇場

施設の適正な管理を行うとともに、ホール、稽古場、練習室等が十分に活用されるよう利用者サービスの向上に努めるほか、施設の空き情報の提供などを行い、利用率の向上に努める。

また、ホームページを活用し、分かりやすく充実した利用案内や施設利用情報の提供、公演チラシ掲載による貸館公演の広報支援など、サービスの充実を図る。

### (2) 埼玉会館

施設の適正な管理を行うとともに、ホール、会議室、展示室等が十分に活用されるように、ウェブ会議を確実に利用できる環境を整え、利用者サービスの向上に努める。

また、施設の活性化と利用促進のために大型催事の誘致を行うほか、施設の空き情報の提供、SNSによる情報発信等を行い、利用率の向上に努める。さらに、ホームページ、浦和のFMラジオ「REDS WAVE」での隔週の生放送及び、浦和の地域情報サイト「まいぷれ浦和」に掲載して、分かりやすく充実した利用案内や施設利用情報の提供、貸館公演の広報支援など、サービスの充実を図る。

## 3 芸術文化に係る事業を推進するための付帯事業

芸術文化に係る事業を推進するために、次の付帯事業を実施する。

### (1) 各種の活動及び発表の場の提供

埼玉会館において、芸術文化活動以外の講演会、講習会及びその他の催し物等について施設の貸与を行う。

### (2) 駐車場及びレストラン等の運営

施設利用者の便宜を図るため、彩の国さいたま芸術劇場及び埼玉会館において有料駐車場を運営する。

また、芸術劇場では自由なアートの遊び場「クリップ」とカフェを、埼玉会館ではレストランを運営することで、利用者へのサービス向上や賑わい創出を図る。

### (3) その他公益目的事業の推進に資する事業

施設利用者の便宜を図るため、彩の国さいたま芸術劇場及び埼玉会館において自動販売機及びタクシー電話を設置する。また、施設内及び敷地内において、ファッション誌等の写真撮影やテレビドラマ・映画等の動画撮影を受け入れる。

#### (4) 埼玉会館のブランディング事業

令和8年に創立100周年を控え、全国に誇れる価値をもつ埼玉会館の歴史と建築を発信するため、ブランディング事業を行う。「埼玉会館100年の記憶」を振り返る展示企画やアーカイブ資料の整備に向けて、埼玉会館の大正、昭和時代等の様子が分かる写真や、イベントのチラシ・チケット等の寄贈を募集していく。

また、セミナーやボランティアによる建物ツアーの開催など前川國男氏が設計したモダニズム建築である埼玉会館の多彩な魅力、特徴を様々な角度から知ってもらうことで、ブランド化による更なるイメージと認知度のアップを図る。

#### (5) 賑わい創出と活性化のための共催・連携事業

彩の国さいたま芸術劇場では、地域の活性化を図るため、さいたま市中央区、バラのまち中央区アートフェスタ実行委員会等の地域団体によるイベントに参加するなど、劇場と地域が連携したまちづくり活動に参画する。

埼玉会館では、美術と街巡り・浦和実行委員会や障がい者団体など高い芸術性や話題性のある事業を共催し、埼玉会館を拠点とした活動や発信の場を広げる。また、地域社会との連携により、町内会のお祭りへの協力、商店会と合同での「県庁通りイルミネーション」の設置、財団自主事業の観客に対し地元商店の協力を得て各種サービスの提供を行う。

さらに、国や県が推進する啓発事業等と関連したライトアップの取組にも積極的に協力していく。

### 4 芸術劇場開館30周年記念事業

令和6年10月に芸術劇場は開館30周年という大きな節目を迎えることから、令和6年に実施する各種公演を30周年記念と銘打ち上演するほか、特設サイトでの情報発信や見学ツアー、グッズの作成などを実施する。

### 5 経営の健全化及び経営基盤の強化

#### (1) 指定管理業務評価指標

ア 舞台芸術作品の提供等に関する事業における評価指標

- ・収支比率 : 50%
- ・有料公演チケット販売率 : 80%
- ・公演満足度 : 90%

イ 芸術文化活動の場の提供等に関する事業における評価指標

- ・施設利用率
  - 彩の国さいたま芸術劇場 : 85%
  - 埼玉会館 : 75%

・施設利用満足度

彩の国さいたま芸術劇場：90%

埼玉会館：90%

(2) 経営目標・経営指標

出資法人の指導監督等に関する要綱及び指定出資法人における中期経営計画の進捗管理実施要領に基づき、数値目標を設定する（詳細は別紙のとおり）。

ア 経常利益を前年度決算より増加させるための数値目標

自主企画公演等（芸術劇場開館30周年記念事業を除く）について、経常利益の改善を図る。

【目標に向けた主な取組内容】

- ・徹底した経費削減
- ・利用料金収入の確保（増大）
- ・自主企画公演に係る自主財源比率（チケット販売率）の向上

イ DXの推進等により生産性向上や経営効率化、サービス向上に資する数値目標

DXの推進等による経常的な事務の効率化及び利用者サービスの向上を図る。

【目標に向けた主な取組内容】

- ・生産性向上
- ・経営効率化
- ・サービス向上

1 経常利益を前年度決算より増加させる旨の数値目標

(1) 目標の概要

令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症や、彩の国さいたま芸術劇場の大規模改修に伴う休館(令和4年10月～令和6年2月)という特殊要因による赤字が続いている。  
令和6年度は、芸術劇場の開館30周年という節目を迎えることから、記念事業は特定費用準備資金を活用するが、記念事業を除いた経常利益の改善を図る。

(2) 目標に向けた主な取組内容

(千円)

取組項目	具体的な計画	R6年度財務計画	
徹底した経費削減	【計画】電子チケットや旅費・経費精算システムの活用、ペーパーレス化の推進 【数値目標】事務的経費、人件費等の削減(278万4千円)	収益	0
		費用	▲ 2,784
		利益	2,784
取組項目	具体的な計画	R6年度財務計画	
利用料金収入の確保(増大)	【計画】彩の国さいたま芸術劇場の休館前の利用者への積極的なアプローチなどにより、休館前の施設利用率以上を目指し、利用料金収入を確保する。 【数値目標】 ・施設利用率85.0%以上(R4実績:84.5%) ・利用料金収入増(600万円以上) ※芸術劇場は、5年度中に利用料金を10%程度値上げ(R6.3.1改定) ※利用料金収入が増額になることに伴い県からの指定管理料が減額されるため、右欄の利益は発生しない。	収益	利用料金収入 5,976 指定管理料 ▲5,976
		費用	0
		利益	0
取組項目	具体的な計画	R6年度財務計画	
自主公演事業に係る自主財源比率(チケット販売率)の向上	【計画】リニューアルオープン後の彩の国さいたま芸術劇場において、彩の国シェイクスピア・シリーズ2ndをはじめとする優良プログラムを提供することにより、チケット販売率の向上を目指す 【数値目標】チケット販売率80.0%以上(R4実績:87.5%)  芸術劇場は令和6年度に開館30周年を迎えることから、これまでの経営努力で得た利益を積み立てた特定費用準備資金を活用して開館30周年を記念した自主企画事業を実施することにより県民に還元する。(事業額:6,625万円) これにより劇場の認知度を向上させ、今後のチケット収入や利用料金収入の増額を目指す。	収益	367,560
		費用	433,810
		利益	▲ 66,250

2 DXの推進等により生産性向上や経営効率化、サービス向上に資する数値目標

(1) 目標の概要

DXの推進等による経常的な事務の効率化及び利用者サービスの向上を図る

(2) 目標に向けた主な取組内容

取組項目	具体的な計画	取組による効果
生産性向上	旅費・経費精算システムやWEB会議をはじめとしたオンラインツールの一層の活用により、作業効率を向上させる	・旅費精算及び資料印刷に係る事務の省力化(人件費約37万円減) ・旅費の削減
取組項目	具体的な計画	取組による効果
経営効率化	・ペーパーレス化を進め、印刷代や用紙代などを削減する ・電子チケットの利用拡大やメールによる貸館申込の拡大により、郵送代の削減や窓口業務の負担を軽減させる	・印刷代、郵送代の削減(事務経費120万円減) ・郵送及び窓口業務に係る事務の省力化(人件費約97万4千円減)
取組項目	具体的な計画	取組による効果
サービス向上	・メンバーズ(友の会)入会手続きについて紙からWEBへの移行を促し、利便性を向上させる ・電子チケットの利用拡大により、購入者のチケット発券に要する手間を軽減させる	・メンバーズ入会及びチケット購入に係る利便性向上(事務の省略化による人件費約24万円減)